

事業名	SDGsを原動力とした「サンゴの村宣言」プロジェクトの高度化による、持続可能なちいきづくり推進事業
総事業費	34,070,960円
国費	17,035,480円（1/2補助）

事業内容

- 1、SDGsを原動力とした地方創生の推進に向けた「サンゴの村づくり計画」の高度化と全体マネジメントに向けた戦略策定
- 2、「恩納ブランド」確立の礎となる村民に対する啓発活動と合意形成に向けた周知活動
- 3、高付加価値な観光商品開発に向けたアドベンチャーツーリズムへの取り組み推進
- 4、自然環境保全と活用に向けたGreen finsの導入
- 5、オーバーツーリズムへの対応
- 6、恩納村版ローカル認証制度の導入
- 7、村民の人材育成とダイバーシティの推進
- 8、統合的な発展に向けたサステナビリティ・ハブを整備

	KPI	①	②	③	④
		Green Finsを導入している海のレジャーに関する事業者数	高付加価値な観光商品の開発（旅行商品数）	サンゴに優しいライフスタイルなどの自然分野の啓発事業への参加者	高度人材育成のためのスキルセットやサステナビリティに関する啓発事業への参加者
	事業開始前	0件	0商品数	0人	0人
2019年度 (1年目)	目標値	0件	2商品数	50人	50人
	実績値	0件	2商品数	70人	0人
2020年度 (2年目)	目標値	15件	2商品数	50人	50人
	実績値				
2021年度 (3年目)	目標値	25件	2商品数	100人	20人
	実績値				
2022年度 (4年目)	目標値	30件	2商品数	100人	20人
	実績値				
2023年度 (5年目)	目標値	30件	2商品数	100人	20人
	実績値				

<p>KPI未達成の理由</p>	<p>1年目は調査、分析等を実施し、計画策定を重点的に行ったため一部達成できなかった。</p> <p>KPI①については、Green Finsを導入する事業者の範囲を決め、実行のための普及啓発やヒアリングを行った。その中でGreen Finsの導入と理解浸透が不足していることが明らかになったため未達成となった。Green Finsの導入予定時期を考慮し、5年間のKPIを修正し累計で増加とした。</p> <p>KPI④については、本村の雇用の現状や村内企業とのマッチング度合いをヒアリング等を通じて調査し、今後の計画を立てた。調査の結果、現状ほとんど村内企業と村民のマッチングが行われていない実情が明らかになり、想定以上の作業量となったため未達成となった。</p>
<p>KPIの実績を踏まえた事業の見直し内容</p>	<p>KPI①UNEP（国連環境計画）の技術協力によりGreen Finsの2020年度導入に向けて事務局の立ち上げやアセサーの育成等に取り組み、Green Finsの導入と理解浸透が不足しているため事業者や関係者への周知拡大を図る。また、沖縄県や環境省等と協議・連携していく必要がある。</p> <p>KPI②環境保全を意識した商品開発を行っている企業に向けて研修旅行等を開発し、本村のサンゴ礁や環境保全の取組等を学ぶことにより企業のCSR活動につなげる。</p> <p>KPI③SDGsの浸透度が低い現状を踏まえ、村民や事業者に広く「SDGs×サンゴの村宣言プロジェクト」を普及啓発する。</p> <p>KPI④企業と村民のマッチングの機会が少なく、認知度も低い状況のため、これらの普及認知を強力に進めるとともに、外部人材の活用等を検討し実施する必要がある。</p>
<p>事業の見直し内容の考え方</p>	<p>KPI①1年目に策定した計画により事業を実施し、前半の達成率は劣るが、5年累計のKPIを達成できるよう取り組みを実施する。</p> <p>KPI②化粧品メーカー等、海や自然環境を意識した商品開発を行っている事業者向けの観光商品を開発することにより、村が行っている取組の認知度向上が見込まれ、実績を積むことにより他分野の事業者へ広げていく。</p> <p>KPI③SDGsやサンゴの村宣言プロジェクトの具体的な取り組みに対する浸透度が低かったため、広報誌やホームページ等を活用し、周知活動を強化する。また、講演会やワークショップ等によりSDGsを自分事化し、理解するような取り組みを実施する。2020年度から感染防止策を行い普及啓発活動に取り組む。</p> <p>KPI④企業と村民のマッチング機会が少なく、認知度が低い状況を踏まえ、実施方法や内容を見直す必要がある。また、一般的な雇用と合わせて高度人材の育成に向けた支援策等を検討する必要がある。</p>

○事業評価委員会からの意見

✓Green Finsの導入については漁民の理解が重要なため、丁寧な説明が必要である。また、制度導入による商品価値や所得の向上、従業員の労働環境が改善されることを期待する。

✓環境と経済の分野は関係者で取り組むことで解決につながると思われるが、社会の分野は全体の理解が重要である。SDGsの普及啓発等、社会の分野が弱いと感じる。伝統文化の継承なども含めて「恩納村らしいSDGs」を表現することが望ましい。

✓子どもたちへの普及啓発やキャリア教育の充実等により、地域に根差した人材育成と高付加価値な仕事づくりが求められる。「人」にやさしいむらづくりを目指していただきたい。